

和歌山だよい

令和2年 2月号
(2020)



南部梅林（みなべ町）

みなべ町晩稲（おしね）の南部梅林は、2月1日から3月1日まで開園の予定です。
例年2月中旬に見頃となりますが、暖冬と定期的な雨の影響で開園初日から大きな花を咲かせています。
「令和」の花見は、元号に縁のある梅の花で始めてみませんか。

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス… P2～P11
3. お知らせ…………… P11～P17
4. ふるさと歳時記…………… P18～P19



「他県では」

県政を議論している時に気になることの1つによその県ではどうしているのだろうかということがあります。

和歌山県では、東日本大震災の悲劇を検証したり、被災県を助けに行ったりした時の経験から、また同年の紀伊半島大水害やその後の度重なる台風や水害の時の手ひどい痛みから、さらには最新のテクノロジーやコンピュータシステムを取り入れて、自分で言うのも変ですが、レベルの高い防災システムを持っています。

海洋研究開発機構と共同開発をしたDONETを使った地震発生時の潮位の実測に基づく津波の到達予測など、たくさんの工夫があって、他の県でも役に立つはずだから、国や他県も真似をしたらよいのにと申し、日本人としてそれは歓迎する所ですが、あまりそういう動きにはなりません。

和歌山県は、他県のいいシステムはどんどん採用しようとして、随分成果を上げているものもあります。このように、人のいい所はどんどん取り入れたらいいと思うのですが、そのためには、我々はいつもアンテナを高くして、世の中の動きや仕組みを勉強していなければならない、このことは、自分が努力するのみならず県の職員にも奨励しています。

一方、この勉強が、片寄っていたり、評価する能力がないと、何でもよそのものがよく見えて、「○○では、こうだ」と、本当は自分の方が進んでいるのに、卑下したり非難したりすることも起こりがちです。こういうのを「出羽（では）の^{かみ}守」と言います。

一方、せっかく先進的で建設的なことを企画しているのに、横並びばかり気にして、他県がやっていないとそこへ進む勇気が持てないというようなケースもよく目にします。

「全国ではまだ1／3ぐらいの県しか採用していないので時期尚早かと」といった^{たぐい}類です。

このように「他県では」といった考えは、いい場合も悪い場合もありますが、すべての場合に、まず周りのことも自分のこともよく勉強し、その利害得失を理解し、やろうと思ったら「^{せんまんにん いえど われ ゆ}千万人と雖も吾往かん」の勇気が必要でしょう。

和歌山県知事 仁 坂 吉 伸



1/28 記者会見室にて

●令和元年度和歌山県文化表彰



受賞者の皆さんと知事（前列）



文化賞受賞の酒井敏行氏

医科大学に留学し、発がんメカニズムの研究を始められました。酒井氏は、かつて、がんは遺伝子の突然変異により発生するといわれる中、突然変異が全くなくても遺伝子が働かなくなりがんになることを発見し、国際的に高く評価されました。さらに、製薬企業と共同でメラノーマ（悪性黒色腫）の患者に対して既存薬に比べ著しく高い治療効果を示す薬剤を見出しました。その新薬は平成25年に米国で承認されたのを機に、日本を含む世界80か国以上で使用されています。また、この薬は甲状腺未分化がん等に著しい効果を示し、日本発の画期的な新薬として、国際的にも極めて高い評価を受けており、酒井氏は、極めて多くの難治がん患者の救済に多大な貢献をしておられます。

また、「文化功労賞」を多数の声楽曲の作品を発表されるとともに、大正末期から昭和初期にかけて活躍した童謡詩人「金子みすゞ」の生涯をテーマとしたオペラ「みすゞ」が高い評価を受けている作曲家の石黒晶（いしぐろ さやか）氏、古来、日本に伝わる絵解きや説話文学、説話画に関する研究を専門とされ「熊野比丘尼」に関する多数の図書、論文を発表しておられる国文学者の林雅彦（はやし まさひこ）氏、「分権的経済計画と社会主義経済の理論」の著者であり、「阪神優勝の経済効果」の発表を機に、日本中に「経済効果」の用語を広めた経済学者の宮本勝浩（みやもと かつひろ）氏にお贈りし、「文化奨励賞」を新進気鋭の画家として注目を集める小柳裕（こやなぎ ゆたか）氏にお贈りしました。なお、酒井氏には平成5年に、石黒氏には平成26年に和歌山県文化奨励賞をお贈りしています。

本県では、今後も和歌山県にとって誇るべき方々を顕彰し、より一層文化の振興を図りたいと考えます。

●和歌山県の人と自然をつなぐシンポジウムを開催しました

本県では、自然と人がより良い関係を築くために、どのようにすれば良いかを考える機会として、平成28年度から令和2年度まで、5回シリーズで本シンポジウムを開催しています。

第4回目となる今回のシンポジウムのテーマは「外来生物問題」です。

本県では、平成31年4月に「和歌山県外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する条例」を施行しており、県民の皆さんに、外来生物の脅威と対策を知っていただくシンポジウムとなりました。

シンポジウムには、テレビ等でコメンテーターとして活躍されている国立研究開発法人国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生態系リスク評価・対策研究室室長の五箇公一（ごか こういち）氏をお招きし「外来生物はなぜ増えるのか？なぜ防除するのか？」をテーマに「ヒアリ」をはじめとする外来生物問題の原因や調査をした際のエピソードを御講演いただきました。

その他、県立田辺中学校・高等学校生物部の皆さんから9月に実施したアフリカツメガエルの防除活動について事例発表をいただいた後、アライグマ等の調査研究を進めておられる鈴木和男（すずき かずお）氏から「紀南のアライグマ」について、県果樹園芸課うめ研究所研究員から令和元年11月に県内で初めて被害が確認されたクビアカツヤカミキリの紹介とその対策方法等について報告されました。

その後のパネルディスカッションでは、東京大学未来ビジョン研究センターの武内和彦（たけうち かずひこ）特任教授にコーディネーターを、五箇氏、生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学－政策プラットフォーム侵略的外来種評価技術支援機関 ヘッドの守分紀子（もりわけ のりこ）氏、ネイチャー・フォトグラファーの内山りゅう（うちやま りゅう）氏にパネリストを務めていただきました。

パネルディスカッションでは、人間の大量消費などの社会経済の仕組みが、多くの種の絶滅の危機につながっていることや、外来種の侵入に気づけるよう、生き物に触れる教育が必要であること、より多くの人に知ってもらうため、人を惹きつける手法を用いた啓発が重要であること等、今後の対策に心がけるべき貴重な御提言をいただきました。



パネルディスカッションの様子



五箇公一氏



環境省提供

ヒアリ



アライグマ

●ワールドマスターズゲームズ 2021 関西 2月1日エントリー開始！

来年の5月14日～30日の間、本県を含む関西一円で、世界最高峰の生涯スポーツの国際総合競技大会「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」がアジアで初めて開催されます。

13府県市で35競技59種目が行われ、本県では、バレーボール、セーリング、ダンススポーツが和歌山市で、ライフル射撃が海南市で、駅伝が田辺市で、ハーフマラソンが上富田町で行われます。

世界中の150以上の国と地域から、合わせて5万人の選手が参加するといわれており、県内における生涯スポーツへの関心の高まりやスポーツ活動の更なる普及につながり、本県の歴史や伝統、芸術や文化、豊かな自然等、さまざまな魅力を全世界へ発信する絶好の機会になると考えています。



参加者と講師全員での記念撮影

1月19日には「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」への機運醸成と県民の同大会への参加を促すことを目的とした「Road to ワールドマスターズゲームズ 2021 関西 TSUNAGU in わかやま」を開催しました。イベントには講師として、アテネ・北京オリンピック 全日本バレーボール女子監督の柳本晶一（やなぎもと しょういち）氏、トランポリン世界選手権 団体銀メダリストの長崎俊侑（ながさき しゅんすけ）氏、ロンドンオリンピック陸上競技出場の江里口匡史（えりぐち まさし）氏をお招きし、体験談や競技のデモンストレーションの披露の後、それぞれの競技指導をいただきました。

ワールドマスターズゲームズは、概ね30歳以上のスポーツ愛好家であれば誰でも参加できる大会です。2月1日から競技出場者、関係者（監督、コーチ、マネージャー等）、サポーター（御家族、御友人）の他、個人ボランティアの申込が大会公式サイトから可能となっています。参加申込は、パソコンまたはスマートフォン等で大会エントリーサイトからお申し込みいただけます。さらに、参加申込完了後でも、競技種目等の追加が可能です。和歌山県では、大会全体へ5000人の出場を目指しているところです。

是非皆さんも大会に参加し、スポーツを楽しむとともに、オリンピックのようにスポーツで世界中から集まる方々との交流を図ってみてはいかがでしょうか。

【大会公式サイト】 URL：<https://www.wmg2021.jp/>

※なお、大会への参加には、参加料金が必要となります。詳しくは公式サイトを御覧ください。

●和歌山県の新たなワーケーションの取組

現在、テレワークの普及等によるワークスタイル変革が進む中、その一つの形として、企業・個人がテレワークを活用して、職場から離れ、リゾート地等で普段の仕事を継続しつつ、その地域ならではの活動を行う「ワーケーション」が全国的に広がりをみせています。



ワーケーションで新たなチャンスを！

本県では、ワーケーションによって人が訪れることで、地域経済への貢献が見込まれることから、平成29年度から全国に先駆け、首都圏のICT企業に呼びかける等、積極的にワーケーションを推進しており、昨年11月には、国内65の自治体を会員とするワーケーション自治体協議会を設立し、初代会長に仁坂知事が就任しています。

そのような中、この度、ワーケーションで和歌山に訪れる人・企業のために様々なサービスを提供してくれる事業者等を募集し、登録された皆さんの取組を県で紹介することとしました。名付けて「Wakayama Workation Networks（ワカヤマ ワーケーション ネットワークス）」といいます。

募集事業は、ワーケーション実施に関する相談受付、プラン作成、各種予約手配等のコーディネート事業、無料のWi-Fiや電源などが利用できる宿泊施設及び会議室等の事業、体験プログラムや観光施設、ボランティア活動等を提供する事業となっています。

県ではこの募集に応じ登録されたサービス提供事業者・団体等の取組をカテゴリごとに類型化し、一元的にWebサイト等で紹介・PRを行います。これにより、「ワーケーション＝和歌山」のブランドを確立するとともに、都会の個人・企業を和歌山に誘客し、和歌山を訪れる方々に、安心かつ円滑なワーケーションを支援する仕組みをつくります。

県内の事業者の皆さんには、県外からの訪問による経済効果をはじめ、都会の企業の意見やノウハウによる地域への好影響、新たなビジネスチャンスの可能性が生まれます。一方、都会の企業の皆さんには、働き方改革の推進になるとともに、人材のスキルアップや企業の価値向上、地方での新しいビジネスの創出につながる可能性が生まれます。このように、ワーケーションでつながる地方と都会、県内の事業者と都会の企業、どちらにも有益な関係が生まれます。

募集は令和2年1月24日から令和2年2月28日までとなっています。

【募集ホームページ】

<https://wave.pref.wakayama.lg.jp/020400/workation/w-networks.html>

●和歌山県で第5世代移動通信システム（5G）を使った実証試験が実施されました



これまで約10年ごとに世代交代してきた無線通信の国際規格において、次の世代は第5世代、5Gと呼ばれています。総務省の試算では、5Gの普及による経済効果は国内だけでも47兆円にのぼるといわれています。

いよいよ今年の春に商用サービスが開始される5Gでは「高速・大容量」、「低遅延」、「多数接続」の特長により、理論上、現在に比

べ通信速度が100倍に、情報伝達の遅れが10分の1になるといわれており、あらゆるものがネットに接続している世界が実現するかも知れません。その世界では、宇宙旅行体験や車の自動運転、人が立ち入れないような災害復旧現場における建設機械の遠隔操作、過疎地での総合病院の診断等、様々な分野にわたり革新的なサービスが誕生するといわれています。

そのような中、NTTドコモ（実施者）、和歌山県、和歌山県立医科大学（協力者）の三者間協定により、今年度で3回目となる5Gを活用した遠隔医療分野に関する総合実証試験が行われました。

1月8日に行われた実証試験では、和歌山県立医科大学（以下、「県立医大」という）と日高川町国保川上診療所エリアの間を5Gを含む高速通信ネットワークで接続し、高精細映像をリアルタイムに共有することにより、県立医大の専門医が診療所における高度医療をサポートしました。さらに今回は、高性能エコーを搭載した高機能移動診療車（ハイパードクターカー）を患者のもとに出動させて、車内で診断したバイタルサイン、心エコー動画、心電図のデータをリアルタイムで県立医大に送り、遠隔診療を行いました。県立



高機能移動診療車による診療の様子

医大で診療に当たった医師は「診察はエコー動画や心電図など色々な情報を見て行うので、実際に隣で患者を診ているのと同じ感覚で行えた。」と話していました。

5Gの普及により、近い将来、様々な社会的課題の解決が期待されています。

●わかやま産業を支える人づくりプロジェクトについて

本県では、高齢化や人口減少が進んでおり、その原因の一つとして若者の県外就職が挙げられます。人手不足が叫ばれる中、県内企業も人材確保に苦労しており、若者の県外就職は県内経済へも悪影響を与えます。ところが県外へ就職する人の中には、県内に若者の

力を発揮できる優良な企業の求人があることを知らずに就職している人が多いです。

そこで県では、生徒が在学中に地元企業をよく知り、進路を選択することができるように、また、和歌山で育った若者がふるさとの産業の成長を支える仕組みを構築するため、平成24年度に「わかやま産業を支える人づくりプロジェクト」を立ち上げました。

このプロジェクトでは、学校と地元のものづくり企業が連携した「校友会地域ネットワーク」を構築し、「企業の経営者等から学ぶ」、「企業の技術者から現場技術を学ぶ」、「企業の現場で学ぶ（インターンシップ）」、「企業の生産活動を学ぶ」等、地域の特性や生徒の実態に応じて、将来の和歌山のものづくり産業を支える優秀な人材の育成に取り組んでいます。

平成27年度からは、当初、工業高校5校で実施していた取組を全高校に拡大しており、多くの企業と高校（生徒・教員・保護者）との関係が深まっています。このプロジェクトをはじめとする様々な取組等により、平成31年3月の県内高校生の県内就職率は77.9%となり、10年前（平成21年3月：67.2%）に比べ大幅に上がっています。

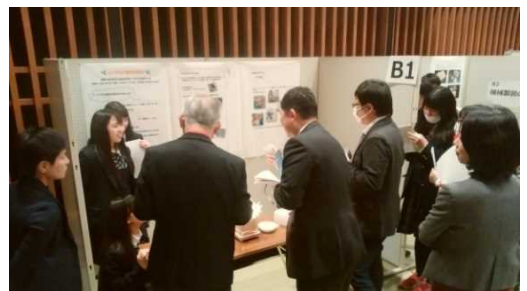
令和2年1月16日、これらの取組の一環として、県内5つの工業系学科設置高校（和歌山工業高校、紀北工業高校、箕島高校、紀央館高校、田辺工業高校）の生徒が、学校で取り組んだ課題や研究の成果等について参加者との対話型の発表を行う、ポスターセッションが田辺市で開催され、工業高校生やものづくり企業等の方々約850人が参加しました。（第36回工業教育研究発表大会と同時開催）

このポスターセッションは社会人として備えておくべき、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力とともに、現代の若者に不足しがちなコミュニケーション能力の向上を図ることを目的としています。今大会でも20組による熱のこもった発表が行われました。

生徒の皆さんには、これらの経験を糧とし、将来、和歌山のものづくり産業を支える人材となってくれることを期待します。



ポスターセッションの様子（和歌山工業高校）



ポスターセッションの様子（紀北工業高校）

●第2回クイズ大会「挑戦！わかやまの歴史」を開催しました

和歌山県には、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」をはじめ、国宝や重要文化財の指定件数が全国で上位を誇るなど、奥深い歴史や文化が育まれています。また、実直で進取の気性に富んだ県民性が、新しい技術を生み出し、それを全国各地に伝えるなど、様々な分野で社会をリードしてきました。

本県では、子供達に、生まれ育った「ふるさと和歌山」の自然、歴史、文化、そして先



「わかやま何でも帳」表紙

人達のことをもっと知ってもらいたい、そして、自信と誇り、真っ直ぐな志を持ってもらいたい、そのような思いを込めて、ふるさと教育副読本「わかやま何でも帳」を平成22年3月に発刊しました。さらに、平成30年3月には、県内を代表する文化財が掲載された「和歌山文化財ガイドブック」を発刊し、県内中学生に一人一冊ずつ配布しています。

その「わかやま何でも帳」と「わかやまの文化財ガイドブック」から出題される「第2回クイズ大会『挑戦！わかやまの歴史』」を1月19日に県立情報交流センタービッグユーにおいて開催しました。県内の中学校（義務教育学校を含む）、特別支援学校中学部から、29校50チーム（1チーム3人編成）が参加しました。



答えは「岩橋千塚古墳群」です。

学校Bチーム、海南市立亀川中学校チーム、県立桐蔭中学校チーム、県立田辺中学校Aチームの4チームにより決勝戦を行いました。接戦の末、見事、県立桐蔭中学校チームが勝利し、チャンピオンとなりました。

県では今後も、様々な取組により、歴史や文化に興味を持つ子供達がさらに知識を深めるとともに、将来、郷土の歴史を伝えるリーダーとなる人材の育成を進めてまいります。

●「温泉総選挙2019」において和歌山県の温泉が栄冠を獲得！



歴史・文化部門第1位の南紀勝浦温泉

「温泉総選挙」は、温泉地の活性化推進を目的とした全国民参加型の地域活性化プロジェクトとして、“旅して日本プロジェクト実行委員会”が環境省、内閣府、総務省、経済産業省、観光庁の5省庁の後援を得て実施しており、今年で4年目となります。

「温泉総選挙2019」には、趣旨に賛同した全国128の温泉地がその魅力をアピールするため9つの部門（リフレッシュ、うる肌、スポーツ・レジャー、健康増進、ファミリー、歴史・文化、女子旅、外国人おもてなし、絶景）から1部門を選択してエントリーし、2019年9月2日～12月20日までの投票数で競われました。

「温泉総選挙2019」において、「南紀勝浦温泉」が“歴史・文化部門”第1位、「南紀白浜温泉」が“スポーツ・レジャー部門”第3位、「やどり温泉いやしの湯（橋本市）」が“ファミリー部門”第3位を獲得しました。

それぞれ、歴史上の出来事や人物に縁のある温泉地や、独自の文化を残している温泉地、近隣の遊園地やスキー場、海水浴場などの周辺施設も自慢の温泉地、幅広い世代が楽しめる周辺施設のある温泉やファミリー向けイベントを実施している温泉地として、鹿児島県の霧島や長崎県の雲仙温泉郷、北海道の十勝川温泉や群馬県の奥軽井沢等、名だたる観光地・温泉地と鎬を削り多くの票を獲得しました。



スポーツ・レジャー部門第3位の南紀白浜温泉

和歌山県では、現在、県内47施設の温泉で「和歌山県温泉協会スタンプラリー」も実施中です。（～令和2年3月1日まで）

寒い冬は、和歌山で温泉めぐりの旅でもいかがでしょうか。

●高校生が発見した「ブドウハゼの原木」を指定文化財に再指定しました

ブドウハゼは、ハゼノキの一種で、果実の大きさが通常のハゼノキより大きく、ブドウに似ていることからその名が付けられています。ハゼノキの果実から採取する木蠟もくろうは和蠟燭や白粉等おしろいの原料となり、ブドウハゼは特にその品質が良いことから、現在の紀美野町域を中心に盛んに栽培が行われていました。

天保の時代に旧志賀野村（現紀美野町）松瀬で発見されたのが最初とされており、その後、接ぎ木により量産化されたものの、原木についても穂木の採取が繰り返され、昭和初期には樹勢が衰えてしまいました。そのため、発見者の孫である吉瀬善次郎氏により、天然記念物への指定申請が行われ、昭和9年に「葡萄櫨ノ原木」として、県指定天然記念物に指定されました。しかし、昭和31年に現在の県文化財保護条例が制定された際、それ以前の指定文化財については、昭和33年3月までに限り指定文化財とみなすという経過措置がとられ、申請がなかった「葡萄櫨ノ原木」は自動的に指定が解除されました。その後、地元では枯死したとさまれ、所在が分からなくなっていました。



ブドウハゼの原木



一其 木原ノ櫨葡萄
旧指定時の写真

平成29年、紀美野町にある「りら創造芸術高等学校」の生徒達が、林業体験の授業で「ブドウハゼの原木は残っている」という話を聞いたことから調査を行い、紀美野町松瀬において、その原木の特徴に似ている木を探し当てました。同校では、指定文化財への再指定を目指すこととし、県や紀美野町教育委員会も調査を開始しました。

その結果、県等の調査により、推定樹齢が190～229年と判明するとともに、りら

創造芸術高等学校による古写真の照合により旧指定木と形状が一致しました。また、県立向陽高等学校による葉から抽出したDNAの比較調査において、調査木がブドウハゼであることが分かりました。一方、紀美野町教育委員会等が行った地域住民への聞き取り調査では、過去に、調査木の近くに天然記念物であることを示す看板が立っていたという証言が得られました。

これらのことから、このブドウハゼは過去に「葡萄櫨ノ原木」として県指定天然記念物に指定されていた樹木と同一個体であると考えられるため、当該地域の生業を支えてきた栽培植物の原木として貴重であることから県指定文化財（天然記念物）に指定して保護することとしました。

りら創造芸術高等学校や県立向陽高等学校の皆さんの熱心な調査により、原木が再び文化財に指定され、ブドウハゼの価値や栽培の伝統が後世に伝えられることになりました。

●ふるさと祭り東京2020に和歌山県ブースを出展しました



ライトアップでひととき目立った和歌山県ブース



マグロ解体ショーのーコマ

今年も、日本の“まつり”と“食”が集う東京ドーム・ふるさと祭り東京2020に、和歌山県ブース「わかやま紀州館」が出展しました。今回で、11回連続の出展となりました。

令和2年1月10日～19日まで開催されたこのイベントに、県内12事業者が集結し、おなじみの梅干しやみかんジュース等の果実加工品の他、梅酒やクラフトビール等のお酒、那智勝浦町で水揚げされたマグロの井など、自慢の逸品を販売・PRしました。

また、12日の「ふるさとステージ」では、わかやまパンダ大使の岡本玲（おかもと れい）さんから和歌山県をPRしていただき、続いて迫力あるマグロ解体ショーを多くの方々にお楽しみいただきました。

ステージ終了後、本場生マグロの振る舞いを行った和歌山県ブースには長蛇の列ができていました。

お客様からは「毎年、和歌山県ブースを楽しみにしている。」や「和歌山県に行ってみたくなった。」等のお声かけいただく他、ライトアップされた和歌山県ブースが会場内では最も迫力があつたと、好評をいただきました。今後も東京近郊にお住まいの方々に、懐かしくて新しい和歌山の食をお届けしてまいります。

【出展事業者一覧（主な出展商品）】（敬称略）

《居酒屋ゾーン》

- まんぷくフードサービス株式会社（紀州南高梅の塩梅からあげ）○平和酒造株式会社（日本酒、平和クラフトビール）
- 有田川町観光協会（みかんジュース、わさび寿司）○かつらぎあんぼ柿加工組合（スカッと柿酢、あんぼ柿）

《居酒屋ゾーン》つづき

○ナギサビール株式会社（ナギサビール各種）○株式会社アーリーバース中筋水産（マグロ丼）

《お土産ゾーン》

○株式会社酒のかまくら（梅酒、みかん酒、じゃばら酒）○有限会社紀南水産（まぐろ山椒とろ炊き、まぐろハム）

○株式会社日向屋（みかんジュース、ドライフルーツ、みかん）○森庄商店（梅干し）

○株式会社伊藤農園（みかんジュース、寒天ジュレ、マーマレード）○中田食品株式会社（梅干し）

●「プレミア和歌山」のすばらしさをより多くの方に知っていただくために

本県では、農林水産物、加工食品、工芸品等、“和歌山のめぐみ”の中でも特に優れたものを「プレミア和歌山」に認定し、推奨してきました。

この度、「プレミア和歌山」の認知度の向上とブランドイメージの定着等を図るため、冊子「プレミア和歌山 歴史をつむぐ逸品」と「プレミア和歌山ブランディング映像」を制作しました。

職人の技により商品が生まれるまでの工程や生産者の表情等を、和歌山の豊かな自然や歴史、伝統とともに知っていただくことで、プレミア和歌山の周知、認定商品の購入促進等につなげていきたいと考えています。また、和歌山を訪れる外国人の方々にも伝わるよう、英語対応した内容となっています。

冊子は、近畿エリアの道の駅、わかやま紀州館など首都圏各所、県内宿泊施設、県内市町村、各振興局等で配布しています。ブランディング映像は「プレミア和歌山」公式ホームページで公開する他、イベント等で放映しています。皆さん、是非、御覧ください。

【プレミア和歌山 公式ホームページアドレス】

<https://premier-wakayama.jp/>

ブランディング映像はこちらからも御覧いただけます。→



詳しい紹介が英語でも



丁寧に洗練された技を御覧いただけます



3分 Ver.



1分 Ver.

～6年後じゃなくて4年後だった・・・（和歌山県人会世界大会）～

昨年11月に本県で初めて開催しました「和歌山県人会世界大会」には、大変多くの方々に御参加いただき、無事成功裡に終えることができました。

改めて大会開催に御協力いただいた方々に心から感謝申し上げます。

さて、これまで、今回の和歌山県人会世界大会について、非公式ながら開催予定は6年後と申し上げておりましたが、各県人会の周年事業等を改めて確認したところ、今回は2023年の開催が最も適当だったのです。すみません！6年後ではなくて4年後でした。お伝えした皆様にお詫びを申し上げ、訂正させていただきます。県人会会長の方々からは、今回はもっとたくさんの仲間と和歌山を訪れたいとお言葉もいただいております。2023年皆様方のご参加を心よりお待ちしております。



（和歌山県企画部国際担当参事 北山徹）

●ふるさと和歌山応援寄附(ふるさと納税)の案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを数多くいただいております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」、「生涯スポーツ・文化の振興」など10の分野で活用させていただいております。(次頁参照)

また、来年度から母校や地域の学校など応援したい高校(私立を含む)を指定した寄附メニューを追加します。



○寄附金控除のしくみ (例)

寄附金10,000円の場合		
所得税 約800円	住民税 約7,200円	適用下限額 約2,000円
← 控除額合計約8,000円 →		

全額控除される寄附金額の目安

自己負担額2,000円を超える金額が全額控除される寄附金額の目安は下の表のとおりです。

【注意】下の表はあくまでも目安としてお考えください。

単身者の場合

給与収入	寄附金額目安
300万円	28,000円
400万円	42,000円
500万円	61,000円
600万円	77,000円
700万円	108,000円
800万円	129,000円
900万円	151,000円
1,000万円	176,000円
1,500万円	389,000円
2,000万円	564,000円

夫婦、子2人の場合

給与収入	寄附金額目安
300万円	—
400万円	12,000円
500万円	28,000円
600万円	43,000円
700万円	66,000円
800万円	85,000円
900万円	119,000円
1,000万円	144,000円
1,500万円	361,000円
2,000万円	536,000円

御寄附につきましては、郵送や振込みで行うことができますが、クレジットカードで行う場合は、ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」(<https://www.furusato-tax.jp/city/product/30000>)のサイト上で、簡単に申込みとクレジットカードによる決済を行うことができますので御利用ください。

和歌山県外にお住まいの方のみ対象となりますが、1万円以上の御寄附をいただいた方には、プレミアム和歌山の事業者から御協力をお願いした207品目の返礼品の中から1品をお選びいただきお届けしています。

昨年7月から返礼品の拡充を行い、品数の増加に加え、寄附金額の価格に応じて返礼品を選んでいただけるようになりました。

和歌山県が誇る優良産品(プレミアム和歌山)を是非御堪能ください。

また、返礼品とは別に、2千円以上の御寄附をいただいた御希望の方に「和歌山ファンクラブ」(和歌山県観光連盟所管)への入会権を贈呈しています。御入会いただくと、刊行情報誌「紀州浪漫」の送付など、魅力ある特典がございます。お申込みはふるさとチョイスからお願いします。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載していますので、是非御覧ください。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

「ふるさと和歌山応援寄附」を活用して行う県の取組

お寄せいただいた寄附金を「ふるさと和歌山応援寄附金」として、次の取組に活用させていただきます。

1 生涯スポーツ・文化の振興

全国規模の大会等の開催を通じて、生涯スポーツの振興と文化力の向上を図ります。

- ・(2019年開催)
 - ・ねんりんピック紀の国わかやま2019
 - ・(2021年開催)
 - ・ワールドマスターズゲームズ2021関西
 - ・国民文化祭・全国障害者芸術・文化祭
 - ・全国高等学校総合文化祭
- 各大会等の開催に向けた準備をすすめます。



2 南紀熊野ジオパークの推進

2019年度に完成する南紀熊野ジオパークセンターを拠点に、「ユネスコ世界ジオパーク」認定に向けた取組を推進します。

- ・南紀熊野ジオパークセンターの展示更新等を行います。



3 がん対策の充実

和歌山はがんで亡くなる方が多い県です。がんになっても安心して治療を受けられ、自分らしく生きることができるよう支援制度を充実していきます。

- ・所得等が一定以下のがん患者の方に対して、先進医療の一部を補助します。
- ・がん治療前に、精子や卵子等を温存することで、希望を持ってがん治療に取り組むことができるよう支援します。



4 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援

和歌山の経済を牽引する製造業や情報通信業の将来の担い手となる人材の確保を支援します。

- ・理系の大学生・大学院生を対象に県内の製造業や情報通信業などの業務を行う企業に就職し、3年勤務した場合、奨学金の返還を最大100万円支援します。



5 わかやまのナショナル・トラスト

和歌山は、みどり豊かな山々と雄大な豪壮なリアス式海岸など、かけがえのない自然や歴史的資産を数多く有しています。これらの自然を保全し、次の世代に引き継いでいきます。

- ・県民の公有財産として未永く保全していくために、自然環境の整備や土地の公有化をすすめます。



6 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用

和歌山の世界遺産をかけがえのないふるさとの宝、人類共通の宝として保全・活用し、次世代に継承していきます。

- ・参詣道の維持管理・パトロールを行います。
- ・世界遺産・周辺地域の風水害等に対する緊急修繕等を行います。



7 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実

和歌山の未来を担う子供の育成や県民の読書文化の向上のため、学校図書館や県立図書館の蔵書の整備をすすめます。

- ・県立学校の図書館の蔵書の充実をすすめます。
- ・県立図書館の蔵書の充実をすすめます。



8 わかやまの美しい海づくり

黒潮の恵みを受ける和歌山は、リアス式の美しい風景に彩られた約652kmにも及ぶ長い海岸線と数多くの海水浴場を有しています。ふるさとの海を守り、より美しくして海のレクリエーションを盛んにします。

- ・片男波海水浴場
 - ・加太海水浴場
 - ・浜の宮海水浴場
- などの砂浜の整地をすすめます。



9 わかやまの文化財の保護

和歌山県には重要な歴史資産がたくさんあり、全国で国宝は6番目、重要文化財は7番目に多いところです。ふるさとの大切な文化財を保全して未来に伝え、郷土の活性化に寄与します。

- ・新宮市の教育者、建築家であった西村伊作の住家であった旧西村家の保存整備をすすめます。
- ・有田市・浄教寺の十六羅漢像の保存修理をすすめます。



10 大切なふるさとの森を守り育てる

和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の77%が森林です。森林は洪水や渇水の緩和、生物多様性の保全、地球温暖化防止と限りない恵みを与えてくれます。かけがえのない森林を守り育て、継承していきます。

- ・和歌浦地区等の松くい虫防除対策をすすめます。



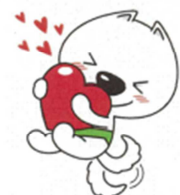
11 母校などの学校への寄附（令和2年4月～）

子供たちの教育環境の充実に活用します。寄附したい高校（私立も含む）があれば指定することができます。

- ・各学校の希望により「学習環境の充実」、「部活動支援」、「特色ある学校づくり」などをすすめます。



- ※ 充当事業につきましては、状況の変化等により、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ※ お寄せいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。



お礼の品一覧

1品お選びいただけます！

151  紀州名産 蒲鉾詰合わせ なんば焼き(300g)3枚 ごぼう巻(230g)2本 化粧箱入り 【西山蒲鉾店】	152  紀州名産 蒲鉾詰合わせ なんば焼き(300g)5枚 ごぼう巻(230g)3本 化粧箱入り 【西山蒲鉾店】	153  紀州湯浅湾直送！ 茹でたて釜揚げしらす・ いかなご釘煮セット 茹でたて釜揚げしらす 200g いかなご釘煮 190g 【まるとも海産】
154  紀州湯浅湾直送！ 茹でたて釜揚げしらす・ ちりめんセット 茹でたて釜揚げしらす 200g ちりめん 190g 【まるとも海産】	155  紀州湯浅湾直送！ 茹でたて釜揚げしらす・ 天日干しちりめん・ちりめん山椒・ いかなご釘煮セット 茹でたて釜揚げしらす 200g 天日干しちりめん 190g ちりめん山椒 190g いかなご釘煮 190g 【まるとも海産】	156  海桜鮭 本鮭セット 海桜鮭 大トロ 100g 中トロ 100g 赤身 100g 【㈱ヤマサ脇口水産】
157  トマトピューレ 3本セット トマトピューレ 150g×3本 (箱入り) 【㈱しおん】	158  うめの塩詰合せ うめの塩 500g×5 【㈱ふみこ農園】	159  ふるさと手造り銘品集 300ml 3本入セット 熊野の酢 古来上寿し酢 土佐酢 【合名会社丸正酢醸造元】

お礼の品一覧

160  ふるさと手造り銘品集 300ml 5本入セット 熊野の酢・古来上寿し酢 那智黒米酢・土佐酢 さんばい酢 【合名会社丸正酢醸造元】	161  ふるさと手造り銘品集 700ml 4本入セット 熊野の酢・古来上寿し酢 那智黒米酢・土佐酢 【合名会社丸正酢醸造元】	162  原酒梅酒 原酒梅酒 720ml 【㈱東農園】
163  原酒梅酒・薔薇梅酒 原酒梅酒 720ml 薔薇梅酒 720ml 【㈱東農園】	164  うめよし おいしい梅酒セレクトセット 操 720ml・壱 375ml 善 375ml・緑 375ml 【㈱紀州本庄うめよし】	165  紀州南高 完熟梅酒 樽 紀州南高 完熟梅酒 樽 720ml 【中田食品㈱】
166  ナギサビール 3種飲み比べ12本セット アメリカンウィート 4本 パールエール 4本 IPA 4本 【ナギサビール㈱】	167  有田みかんの アイスなワイン 恐れ入りますが、 今年の申込は終了しました。 【花野食品】	168  シュワッと爽やか スパークリングワインセット みかんシュワツ酒 330ml 12本 【花野食品】

お礼の品一覧

169  蜜柑王国 みかんの酒4本セット 蜜柑王国みかんの酒 500ml×4本 【花野食品】	170  幻の梅酒 熊野伝説2本セット 熊野伝説 黒瓶・白瓶 各720ml 【ブラム食品㈱】	171  紀州南高梅本格梅酒 原酒 暁 紀州南高梅本格梅酒 原酒 暁 720ml 【横山食品㈱】
172  黒潮波と蜂蜜梅酒のセット 15年貯蔵本格焼酎 黒潮波 720ml 紀州完熟梅酒 蜂蜜 720ml 2本用化粧箱入 【㈱吉村秀雄商店】	173  日本城 吟醸純米酒と じゃばら酒と鍬鑢のセット 恐れ入りますが、 今年の申込は終了しました。 【㈱吉村秀雄商店】	174  森のねこトイレ くずれるタイプ(6袋入) システムトイレ用猫砂 5L×6袋 【川口建設㈱】
175  森のねこトイレ (12袋入) システムトイレ用猫砂 2. 5L×12袋 【川口建設㈱】	176  いつものご飯が水が さらにおいしく 浄水・炊飯用 紀州備長炭 600g 【紀伊の森】	177  いつものご飯が水が さらにおいしく 浄水・炊飯用 紀州備長炭 1. 3kg 【紀伊の森】

お礼の品一覧

178	179	180
		
紀州桧弁当箱 TypeS-4 DBR	紀州桧弁当箱 TypeS-4 NA	紀州桧弁当箱 Type2 DBR
紀州桧弁当箱(仕切付) 520ml 20×8.5×6cm	紀州桧弁当箱(仕切付) 520ml 20×8.5×6cm	紀州桧弁当箱(仕切付) 480ml 19×9×6cm
【角田清兵衛商店】	【角田清兵衛商店】	【角田清兵衛商店】

返礼品 207 品のうち、30 品を御紹介しました。

商品の詳細や他の商品を御覧になりたい方は、「ふるさとチョイス」を御覧ください。

和歌山県が誇る優良産品（プレミアム和歌山）を是非御堪能ください。

URL : <https://www.furusato-tax.jp/city/product/30000>



***** ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては *****

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 工藤、宮本

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

☆お問合せ窓口☆

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 宮本

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

イベント情報(2月中旬～3月下旬)

期間	行事名	場所	問い合わせ先
2月中旬	常楽会	高野町・金剛峯寺	金剛峯寺法会課 0736-56-2011
2月中旬	南の国の雪まつり	那智勝浦町役場前	南紀くろしお商工会 0735-52-1089
2月中旬 ～	紀州海南ひなめぐり	海南市 ・海南駅前商店街 等	紀州海南ひなめぐり実行委 員会 080-3840-0740
2月下旬	赤粥占い神事	田辺市・伊作田稻荷神社	田辺観光協会 0739-26-9929
3月上旬	雛流し	和歌山市・淡嶋神社	淡嶋神社 073-459-0043
3月上旬	紀の川流し雛	紀の川市・粉河寺	粉河ふるさとセンター 0736-73-3312
3月上旬	加太の桜鯛祭り	和歌山市 ・加太おさかな倉庫	加太観光協会 073-459-0003
3月上旬	高野の火祭り	高野山・金剛峯寺前	金剛峯寺法会課 0736-56-2011
3月上旬	ケンケンかつお味覚祭り	すさみ町・すさみ漁協	すさみ町観光協会 0735-34-3200
3月上旬	おとう 御乙祭	御坊市・須佐神社	御坊市商工会議所 0738-23-5531
3月中旬	おいし 生石高原山焼き	紀美野町、有田川町 ・おいし 生石高原	紀美野町産業課 073-489-5901 有田川町商工観光課 0737-52-2111
3月中旬	涅槃会	和歌山市・了法寺	了法寺 073-471-1376
3月中旬	紀州湯浅のシロウオ祭り	湯浅町・島之内商店街	湯浅町観光課 0737-63-2525
3月下旬	桜・舞・道成寺	日高川町・道成寺	おいでよ！日高実行委員 会 0738-22-2041
3月下旬	和歌浦天満宮大祭	和歌山市・和歌浦天満宮	和歌浦天満宮 073-444-4769



自然・風物情報(2月～3月)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
2月中旬	オガタマノキの花見頃	新宮市・熊野速玉大社	熊野速玉大社 0735-22-2533
3月上旬	ツクシ顔を出す	県内各所	
3月上旬	ハウス栽培のモモ開花	紀の川市桃山町	あら川の桃振興協議会 0736-66-1259
3月上旬	あまご漁解禁	田辺市・熊野川	熊野川漁協 0735-21-4193
		古座川町・古座川	古座川漁協 0735-72-3800
3月上旬	和歌山城のこも外し	和歌山市・和歌山城公園	和歌山城整備企画課 073-435-1044
3月上旬	シロウオ漁はじまる	湯浅町・広川河口	湯浅町観光協会 0737-63-2525
3月中旬	クリスマスローズ見頃	田辺市・新庄総合公園	田辺市管理課 0739-26-9966
3月中旬	椿 見頃	紀の川市・桃源郷運動公園	紀の川市観光協会 0736-73-3311
		和歌山市・友ヶ島	和歌山市観光協会 073-433-8118
3月中旬	古道のミツマタ見頃	新宮市・熊野古道 〔大雲取越〕	熊野本宮観光協会 0739-43-5555
3月下旬	和歌山城公園動物園の ツキノワグマのベニー 冬眠からお目覚め	和歌山市・和歌山城公園	和歌山城整備企画課 073-435-1044
3月下旬	シダレサクラの開花	田辺市中辺路町近露	中辺路町観光協会 0739-64-1470
3月下旬	姫ひじきの収穫始まる	串本町・姫の磯	和歌山東漁協西向支部 0735-72-0176
3月下旬	菜の花見頃	橋本市・小峰台	はしもと広域観光案内所 0736-33-3552
		上富田町・市ノ瀬	上富田町観光協会 0739-47-0550
3月下旬	白モクレン見頃	田辺市中辺路町	中辺路観光協会 0739-64-1470

～編集後記～

今年は暖冬と言われ、和歌山市内で雪を見ることはほとんどありません。紀南もそうなのでしょうか、梅の便りが届いています。

ご存知の通り、和歌山県の梅は、栽培面積、出荷量ともに全国 1 位を誇る、県を代表する特産物の一つです。今月はじめには田辺市やみなべ町の梅林がオープンし、かぐわしい香りと、白やピンクの可愛らしい花で私たちを楽しませてくれます。後に実ができれば、梅酒やジュース、梅干などに加工し、いろんなシーンで活躍してくれるスグレモノです。

一方、昔は、花と言えば「梅」を指していたのだと聞いたことがあります。万葉集に梅を詠んだ歌が多いことからわかります。最近では、「令和」の出典元となった

『初春の令月にして 気淑く風和ぎ

梅は鏡前の粉を披き 蘭（らん）は珮（はい）後の香を薫らす』
が有名ですね。

雅の時代に想いを馳せながら、梅林を散策しに来ませんか。

花より団子という方は、地元で大人気の「いももち」をどうぞ。

最後にこのことについて触れないわけにはいきません。

新型コロナウイルスです。まだまだ出口が見えないトンネルのようです。飛沫感染ということで、うがい・手洗い・マスクをしていればおそれることはないそうですが、そのマスクや除菌剤が店頭から消えてしまい、そのことで不安になってしまいます。マスクは必要な数だけ購入するようにするなど、冷静な対応に努めましょう。

知事室 秘書課長 塩崎 裕子

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので是非御覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願ひします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」
の発行以外の目的には、使用いたしません。



2020 年（令和 2 年） 2 月 No.142

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通 1-1

TEL 073-441-2022